



ランドクルーザー“FJ” ポイントシート

※画像はプロトタイプ

チーフエンジニアが語る！

ランドクルーザー“FJ”にまつわるエトセトラ

2025年10月21日に世界初公開したランドクルーザー“FJ”。  
開発に込めた思いを、チーフエンジニアが語る。

### “FJ”開発に込めた思い

2024年発売のランドクルーザー“250”シリーズ開発を通じ、「原点回帰」としてランドクルーザーの役割を再定義。  
フラッグシップの“300”、ワークホースの“70”、  
生活と実用を支える“250”という位置づけが明確になった。



原点回帰したからこそ見えてきた

「もっと、多様化する地域・生活に寄り添って、  
お客様の暮らしや実用を支えられるのではないか」  
という想い。

そして、ランクルの魅力をもっと多くのお客様に  
お届けしたいという想いから、ランドクルーザー“FJ”が誕生した。

※画像はプロトタイプ

### チーフエンジニアの声

「ランドクルーザーは世界中の生活を見て、支え、育ってきたクルマです。  
その中でもっと多くの生活を支えていきたいという想いから生まれたのが、  
この“ランドクルーザー“FJ”というクルマです。」

ちなみに…

「FJクルーザー」とは車名が似ているが、北米の若者のアクティブライフを支えたFJクルーザーに対し、  
ランドクルーザー“FJ”は「グローバルに生活を支えること」を主眼に置いているため、  
コンセプトの段階から大きく異なっている。

## 「ランドクルーザーらしさ」を凝縮したデザインに、操る楽しさを加えて

今回発表されたランドクルーザー“FJ”は、他のシリーズよりも一回りコンパクト。しかし、他シリーズにも引けを取らない悪路走破性とコンパクトだからこそその機動性を兼ね備え、ランクルで悪路を走る楽しさを直に感じていただけるクルマとなっている。こちらでは、そんな“FJ”だからこそその特色をご紹介。

### チーフエンジニアの声

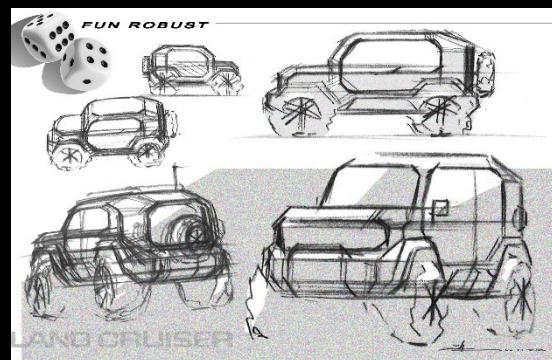
「ランドクルーザー“FJ”は  
ランクルらしさをギュッと凝縮し、  
ランクルで悪路を走る楽しさを  
直に感じていただけるクルマだと  
思っています。」



※画像はプロトタイプ

### ランドクルーザーの伝統を受け継ぐ、四角いキャビンと機能性を重視したデザイン

- ・ ランドクルーザーの伝統である、四角い箱型キャビンをベースに、サイコロの角を落としたような構成とし、力強い印象と踏ん張り感を演出
- ・ 機能部品は、中に、上に配置。また、フロント、リヤ共にオーバーハングを切り詰めたことで、凝縮された塊感を表現。タイヤがより四隅に近い位置に配置されたことで、しっかりとタイヤが地面をつかみにいき、悪路での安心感を実現
- ・ 全長の短縮とデパートチャーアングルの確保のため、背面タイヤを採用。ラゲージも横開きとし、往年のFJ40型ランドクルーザーを彷彿とさせるデザインに



▲ランドクルーザー“FJ” デザインスケッチ



▲ランドクルーザー“FJ”(左・プロトタイプ)  
FJ40型ランドクルーザー(右)

### 「シンプルながら機能的に使える」インテリア

- ・ 悪路の中でも車両姿勢を把握できるよう、水平基調のコクピットレイアウトを採用。また、視界を確保するため、ベルトラインの引き下げやAピラーの位置にもこだわった
- ・ スイッチ類は直感的にわかる位置に配置。メカスイッチにこだわり、悪路走行時の操作に配慮
- ・ 箱型のキャビンにより、荷室も確保。また、横開きのドアにより広い開口部を実現



※画像はプロトタイプ



※画像はプロトタイプ

## ランドクルーザーの伝統である「悪路走破性」と コンパクトだからこそキビキビ動く「機動性」の融合

- IMVシリーズのプラットフォームをベースに、  
ホイールベースの短縮（“250”シリーズ比-270mm）と  
フレームの高剛性化も実施し、優れた操縦安定性を確保。  
また、最小回転半径も5.5mと取り回しの良さと悪路  
での機動性を実現
- ランクルシリーズの一員として、  
これまでのシリーズと同様の試験を実施、クリアし、  
ランクルネス（信頼性・耐久性・悪路走破性）を担保



※画像はプロトタイプ

### チーフエンジニアの声

「ランクルならではの悪路走破性はもちろん  
コンパクトさを活かした機動性で更なる走りの楽しみが広がると考えています。  
取り回しの良さは悪路だけでなく、街中のシーンでも活躍します。」

- エンジンは信頼性のある2.7L ガソリンエンジンを採用。  
ランドクルーザーで鍛えたエンジンで安心をお届け

### おわりに

### チーフエンジニアの声

「今回の新型車である  
ランドクルーザー“FJ”は、  
サイズ感の異なるランクルとして、  
色々な地域を支えるために開発しました。  
もちろん、日本でも十分に活躍できる  
サイズ感のクルマだと思っています。  
ランクルネスの詰まったクルマに  
ぜひ、ご期待ください！」



※画像はプロトタイプ

## Q.このクルマについてもっと知りたい！

A.こちらもどうぞ！

- ニュースリリース
- ティザーサイト
- YouTube(ランクルちゃんねる)
- Japan mobility show トヨタ特設サイト